

阿木あんきなくらぶ 12月のレクリエーション

《東濃弁かるた》

形式としては普通のかるたですが、読み札が東濃弁で、取り札が標準語なのがミソです。捕り手は東濃弁を聞き、それを頭の中で標準語に翻訳し、取り札を探さないといけません。なおかつ、自分の翻訳した標準語と取り札にかかれた言葉は必ずしも一致しません。「意味」が同じものを探す必要があります。

例

読み札「ちょっと飯のまわしをしてくれよ」

取り札「早くご飯の準備をしてくれよ」

読み札「そのくろにポスターをがばりで貼ってくれ」

取り札「その隅っこにポスターを画鋸で貼ってくれ」

普段何気なく出てくる東濃弁ですが、読んでみるとイントネーションの違いを指摘されたり、改めて意味を知ったりと、頭の体操にはなると思います。